

府中市 一人一台タブレット端末 家庭における活用について

タブレット端末の持ち帰りに当たっての基本的な考え

府中市では、全ての児童・生徒が学習等に取り組むための一つのツールとして、タブレット端末を適切に活用し、様々な課題を解決するために必要な力を身に付けることを目指しています。児童・生徒一人一人が、自分の興味・関心に合わせて、タブレット端末を積極的かつ効果的に活用し、自ら進んで学びを深めていくことができるようにします。

朝顔を観察して、
スライドにまとめて
みよう。



逆上がりのポイント
を調べてみよう。



意味調べをして、
スプレッドシート
で自分だけの辞書
を作ってみよう。



読書記録をデータ
で残していこう。



自らの未来を
切り拓いていく
主体性や
豊かな創造性
を育む

明日の小テストに
向けて、しっかり
復習をしておこう。



なりたい職業につい
て、調べてみよう。



修学旅行の班行動
のプランを立てて
みよう。



演奏の様子を撮影して、
上達の程度を確認して
みよう。



令和4年7月
府中市教育委員会

家庭でのタブレット端末を使った学びの充実

これまで児童・生徒が学校内で活用していたタブレット端末を家庭に持ち帰るようにします。「タブレット端末を持ち帰ることで期待される効果」と「家庭での活用例」を紹介します。

タブレット端末を持ち帰ることで期待される効果

興味・関心に応じた学びの実現

児童・生徒一人一人が、自分の興味・関心や、学習の進度に応じた学びを実現していくことができます。

学びの連続性

タブレット端末を活用し、学校での学びと家庭での学びを結び付けることで、児童・生徒の資質・能力の一層の向上を図ることができます。

学びの保障

学習に取り組む場所と時間が広がることで、学級閉鎖等により授業に参加できない児童・生徒や、様々な理由で教室で授業を受けることが難しい児童・生徒に対応することができます。

家庭での活用例

調べたいこと、確かめたいこと、身に付けたいことなど、児童・生徒一人一人が興味・関心に応じて、様々なことに取り組むことができます。

「eライブラリアドバンス」で学ぶ



学校で利用している学習用コンテンツを家庭でも利用できます。おすすめの教材に取り組んだり、興味・関心のある内容を学習したりできます。

調べる・探究する



ブリタニカ百科事典をベースにしたデジタル教材「ブリタニカ・スクールエディション」では、興味・関心に応じて調べ学習・探究学習に取り組むことができます。

学校の学びとつながる



画像で観察記録を保存、発表練習や音読練習を録音、一言日記、運動会ダンス動画で練習、「Google スライド」編集、学習記録で授業を振り返るなど、学校の学びと連携することができます。

様々な状況に応じた学びの保障



学級閉鎖や出席停止（自宅療養等）などにより授業に参加できない児童・生徒に対し、「Google Meet」で授業の配信を行うことができます。また、「eライブラリアドバンス」や「Google Workspace for Education」などを活用して学習計画に基づいて学習を行うことができます。

活用事例集

はじめよう!

これからの家庭学習

Google for Education を活用した事例集



「Google for Education」の活用事例も御参照ください。

持ち帰りに当たって御理解いただきたいこと

- タブレット端末は、学習等に取り組むための一つのツール（文具）として活用するものです。
- 児童・生徒が、一人一人の興味・関心や個別の課題等に応じて、積極的かつ効果的に活用できることを目指しています。
 - 毎日持ち帰ります。次の登校日には、家庭で充電した上で、学校に持ってくることになります。
 - 持ち帰る際には、荷物が重すぎるなど、児童・生徒の負担にならないように配慮をします。
 - 毎日、タブレット端末を利用して家庭で取り組む課題が与えられるということではありません。ただし、必要に応じて、課題を指示することもあります。

学校が期待するタブレット端末でつながる学び

家庭

児童・生徒



「Google Classroom」で予定・持ち物を確認する。

「eライブラリアドバンス」の課題をオンラインで提出する。

★タブレット端末を使って、予定や宿題、連絡を確認することができます。

教員

「Google Classroom」のストリームで連絡事項を伝える。

提出されたオンライン学習の結果により、授業の進度を調整する。

★「eライブラリアドバンス」で配布した課題の取組状況がリアルタイムで更新され、結果を分析することができます。



学校



朝学習の時間にタイピングを練習する。

「Jamboard」で意見を発表する。

★タブレット端末を使うことで、声に出して発表することが苦手な児童・生徒でも意見を発表することができます。



「Google スライド」で共同編集した内容を発表する。

★多様な意見を同時に整理し、発信することができます。

委員会活動等のアンケートを「Google フォーム」で実施する。



全校の児童・生徒に伝えたいことを「Google Meet」で発信する。

児童・生徒一人一人のタイピング技能の向上を図る。

視覚資料や「Jamboard」のデータ等を用意し、授業のポイントを整理・確認する。

★視覚的な教材や協働学習により興味・関心を引き出すとともに、主体的な学びを促します。



「Google スライド」の作成状況を確認して適宜助言、学習の進度を調整する。

委員会活動等の取組に応じて、タブレット端末の有効な活用方法を提案する。



★様々な状況に対応しつつ、自主的な活動をサポートします。

家庭

「eライブラリアドバンス」で自分の学習記録から、得意な教科を伸ばし、苦手な教科を克服する。



授業で作成した「Google スライド」の編集をする。

「eライブラリアドバンス」で課題を配布し、一人一人の学びの状況を把握する。

★学校と家庭の学びが結び付くような学習を実現します。



※児童・生徒がタブレット端末を“いつでも”“どの教科でも”使えるようにすることで、学習を充実させるための一つのツールとして、学校や家庭で効果的に活用ができるようになることを目指します。
 ※必要に応じて課題を指示することがありますが、毎日、学校が家庭で取り組む課題を与えるものではありません。タブレット端末の持ち帰りでは、学校から与えられた課題に取り組むことに重点を置くのではなく、自らの興味・関心に応じて主体的に学ぶ姿勢を育成することを大切にします。

タブレット端末の利用に当たって

貸出について



タブレット端末及び充電器は学習用として貸し出すものです。卒業や転出の際は、返却してください。タブレット端末及び充電器は、次の児童・生徒に貸し出すものですので、大切に扱ってください。

持ち帰りについて



タブレット端末は毎日家庭へ持ち帰ります。ゲーム等の利用はできない設定となっています。自分の興味・関心に応じた学習に取り組むツールとして活用してください。

インターネットへの接続について



タブレット端末を持ち帰った際には、スマートフォンを介したWi-Fiの利用（テザリング）を含め、御家庭のWi-Fi環境を御利用ください。

フィルタリングの設定について



学校・家庭のいずれにおいてもインターネットを安全に利用できるよう、有害サイト等へのアクセスをブロックするフィルタリングサービスを導入しています。

ログインID（二次元コード）の管理について



ログインするために必要な二次元コード（家庭用）は、第三者に貸し出したり、紛失したりしないよう管理をお願いします。紛失した場合には、速やかに学校まで御連絡ください。

充電について



タブレット端末は、登校したときにすぐ使えるよう、貸し出される充電器を使い、御家庭で充電するよう御協力をお願いします。

家庭での使用ルールについて



学校では30分に一回、20秒以上目を休ませる等、使用ルールやマナーの指導を行います。御家庭でもお子さんとタブレット端末の取り扱いについて、話し合う機会を設けてください。

健康面への配慮について



児童・生徒への健康面への影響に配慮して、22時から翌日6時までは使用できない設定にしています。

【参考資料】
端末利用に当たっての児童生徒の健康への配慮等に関する啓発リーフレット（文部科学省）



破損や故障、紛失について



タブレット端末等の破損・故障・紛失があった場合は、速やかに学校へ御連絡ください。紛失の場合は、設定変更を行い、第三者の利用を防ぎます。

SNS府中ルールについて



「SNS府中ルール（PDF版）」

SNSは利便性が高く、私たちの生活に密着しています。一方で、それらを利用した犯罪被害等も発生しています。御家庭で「我が家のSNSルール」を作成する際に、御活用ください。

関連資料

保護者が正しく知っておきたい4つの大切なポイント（内閣府）



家庭で見守る子供のネット・スマホ利用（東京都）



府中市タブレット端末支援サイト（府中市教育委員会）

